

阿佐ヶ谷美術専門学校同窓会  
2004年度第4回常任幹事会議事録

●日時  
2004年11月27日(土) 15:00~17:00

●場所  
阿佐ヶ谷美術専門学校 124号室

●出席者  
甲斐光省 [副会長] : 途中参加  
西田一成 [常任幹事] : 早退  
渡部征明 [常任幹事]  
大村政幸 [常任幹事]  
浜村圭一 [常任幹事]  
松岡和彦 [常任幹事]  
小山 弘 [常任幹事]  
角谷祥子 [常任幹事]  
藤原成理 [常任幹事]

●委任欠席  
秋元圭一  
目須田修 (→西田氏)  
菊池 満  
西谷之男  
三浦嘉久  
川島昭作 (→西田氏)  
勝山昌幸 (→秋元氏)  
岸 明美  
益子直子

常任幹事出席者9名  
委任欠席者9名  
定足数成立

●議事進行  
議長・進行/小山 弘  
●書記/大村政幸

●議題  
議題1/  
今後の学校との連携についての  
報告と意見交換

議題2/  
会則検討について

議題3/  
その他

次回日程

議題1 / 今後の学校との連携についての報告と意見交換

●協定書について

議題に入る前に議長の小山氏より10月19日に秋元会長と三輪校長で交された『阿佐ヶ谷美術専門学校並びに同窓会に係わる協定書』の内容が伝えられ、全7項目中より『入学時に学校側で行っていた同窓会費の徴収を2006年度より同窓会に委ねる』という項目についての意見交換となった。「(浜村)強制権がないので同窓会費を見送る可能性があり、存続の危機になるのではないか」「(大村)同窓会員になりたいかどうかは在学中の判断は難しいのではない」「(西田)将来、学校と同窓会双方で人員移動はあり得るので、その時にスムーズな対応ができるかという懸念がある。学校長と同窓会会長の他に担当者が欲しかった。将来の会長同士が独断で判断しないように今の役員で決めておく必要がある。本来は契約書に割印が必要」など捺印の前に学校側と意見交換及び検討の時間がほしかったという意見があった。

●会費徴収について

次に会費の徴収についての意見交換に移り「(小山)会費徴収に対する検討委員会などが必要ではないか」「(松岡)運営費用の他に会員の資格の問題もある。今は入会時の意思確認はないが、今度は会費なしで卒業後の全員が入会という事なのか、入会の意思がある者のみ会費を払って同窓会員になるのかによっても同窓会の性格が変わってくる。退会希望等の問題もあり、例えば同窓会の縮小と考えた場合、身近で活動し易くなるかもしれないが、小規模な団体になる懸念がある。会費よりも同窓会の定義付けを先に考えるべきでは。会費を払っているという意識の下で活発化されれば、今のように議題の先送りなどできなくなる」「(浜村)新入生に対して同窓会をアピールする為のプレゼンテーションが必要になる」「(松岡)『同窓会って面白そうだ』と感じてもらえるように、魅力のある同窓会にして行かないといけない」「(大村)退会希望等の問題について、例えば現時点で同窓会解散を想定した場合、全会員へ返金できる資産は無く、会費の徴収があやふやだった年代があるので、同窓会員になりたいから会費を払うという意味での、現会員と将来の会員との平等性は解決するのが難しい」など、同窓会の目的や徴収前のアピールの必要性の意見があった。

●現資産の運用と今後の展開

次に議長から現資産の運用のアイデアと展開について意見を募った。「(松岡)組織は継続が前提なので、資産運用が同窓会の目的ではないにしろ、継続させるのであれば定期預金や外貨預金といった、増やす手段をここで考えないといけないのではないか」「(浜村)今までは毎年自動的に入ってきたという守りの体制から、これからは資金をどう運用して行くかという方向に頭を切換えないといけない」等の意見に続き「(角谷)[売ります・買います][困った時の相談][就職]のコーナー等役に立つホームページを作って有料化するなど考えられる。また、法人化するのはどうか」「(浜村)(松岡)面白いアイデアだと思う」「(西田)儲からないまでも、やっている人が損をしないようにできればよい」「(角谷)ホームページの更新をパートで雇えるくらいは利益になるとよい」「(大村)部屋を借りてフリーの人に貸して家賃収入というのはどうか」「(松岡)マンションを購入して貸す方法もある」「(渡部)ホームページでバーチャルギャラリーをやっている所もある」「(浜村)フリーの人達に役に立つ場所になるとよい」「(西田)形になって残していかないといけないと思う。アイデアが出て誰がやるかが難しい。ホームページを作るのなら予算を出して頼まれた人の利益になればよい。関われば愛着が湧くと思う」「(大村)頼むのではなく募集して見つかるとうい。他の案としては融資を募るとか会費を会員から再度集めるのはどうか」「(角谷)集まるだけのメリットが必要だと思う」等の提案が述べられ、後日会長や副会長を交えて意見をまとめる事になった。

## 議題2／会則検討について

「(西田) 毎回全員が集まらない理由で会議が進まないのであれば時間をずらしてはどうか」という提案などの後、委員長の甲斐氏の参加で会議は進められた。会議は過去2回あり、『1. 科別投票の廃止』『2. 意思確認の打診』『3. [母校と会員相互の発展の為に]とする』という前回会議での報告3点を踏まえての意見交換となった。「(甲斐) 前回常任幹事会議で、任期延長を可決してからまた検討しようという事になったと思う」「(松岡) 科別投票の廃止の前に任期延長を先に決めても良いのだろうか」「(角谷) 前は、検討内容が煮詰まらない内に選挙となってしまうので2年に1回くらいにしたいという話だったと思う」「(松岡) それは会則ではなくて選挙検討ではなかったか」「(甲斐) 会則の中に選挙の事が入っていたので会則検討ではあると思う」「(松岡) 選挙以前に役員の任期を会則の中で延長するかどうか先という事か」「(甲斐) 先にしていいたいと思う」「(西田) 任期延長には会則変更が必要。段階を踏んで別の方法に移行する為にも、全幹事の了解無しに選挙をやめて任期を伸ばすのは乱暴ではないか。ただ、確かに毎年の選挙は理想ではあるが大変な作業なので、省ければ減らせる方がいいとも思うし、会則では選挙制度については触れていないので執行部で新しい選挙制度を考えるのは構わないと思う。私が考える内容については前回(第2回会則「検討についての意見交換」を参照)提案した。

ただ、若い人だけで便利な方法を選んでしまうとどうしてもサークル的な方向になってしまう恐れもあり、そうなると学校にお返しする時に曖昧な形だとよくないので会則はいじらない方が良く思う。希望通りにはなと思うので今期だけは選挙をやった方がよいのではないかと意見後、「(甲斐) 会費の問題をなんとかしないとイケない」「(浜村) 会費徴収の問題が先だと思う、会長から経緯を聞き検討が必要」「(甲斐) 選挙で人員が替ると混乱すると思う」「(小山) 混乱を招いて選挙のコストが無駄になる可能性もあるので今のメンバーで解決したい」など会則検討に続いて会費徴収の問題も加わったため、次回の選挙を見送りたいとの意見になった。

## 議題3／その他

### ●選挙見送りにあたっての意見交換

「(角谷) 任期延長等の提案を箇条書きにして全幹事に承認を得るという内容を同窓会ニュースに含められないか」「(小山) そうするのがよいと思う。承認をもらう方法の手間と予算はかかるが、前回のパーティーの時にも行った形式(送って返事がない場合でも『承認』とする)で幹事には確認がとれる」「(大村) 選挙をする方が手間は少ないのではないか」「(小山) 人員が替るとまた始めからとなる恐れがある為、このまま地固めをして進めたい」等の意見が挙がり、ここで西田氏が所要の為、退席となった。引き続き「(松岡) 会費を使わなくていいのなら毎回選挙を行わなくなる恐れがあるので、今回だけはその理由を明文化しないとイケない」「(甲斐) 欲を言えば今回の選挙をしない事と常任幹事会のみで決定権をまかせてほしい気持ちがある」「(角谷) 異論のある人は来てもらってはどうか」「(浜村) それが一番いいと思う」「(松岡) 返信の無い場合は『承認』という事で大丈夫だと思う」などの意見後、『現常任幹事が承諾した今回だけの常任幹事の任期延長と、来年は選挙無しという2点を幹事全員に提案して承認を求める』という内容で進める事でよいかを挙手で求め、全会一致で可決された。最後に「(藤原) 幹事会に送る文書については承認を取りたい。文書に異論のある返信者は1月29日の会議までに文書提出か当日出席してもらう事にしておけば、タイトなスケジュールになってしまうとは思いますが承認されなかった場合に行う選挙には間に合うと思う」と述べ、緊急の幹事会を開いて検討することにした。

### 次回日程

12月18日 14:00～の緊急幹事会日時の確認をして議会は閉会した。